

名張警察署協議会議事録

令和6年度第1回名張警察署協議会	
日時 場所	令和6年6月18日（火）午前10時30分～午後0時10分 名張警察署3階会議室
出席者	<p>1 三重県公安委員会 志田幸雄委員</p> <p>2 警察署協議会 6名 伊集基之委員、上迫直生委員、 グエン ティ バン トゥオン委員、田川敦子委員、 富山玲子委員、布村進委員</p> <p>3 警察署 9名 署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、 地域課長、刑事課長、交通課長、警備課長</p>
傍聴者数	なし
公開・非公開の別	公開
議 事 概 要	
<p>1 委嘱状交付</p> <p>2 公安委員会委員挨拶</p> <p>3 警察署長挨拶</p> <p>4 警察署幹部及び警察署協議会委員自己紹介</p> <p>5 警察署協議会会長、副会長の選出 警察署協議会委員の互選により、会長に伊集委員を選出した。会長が田川委員を副会長に指名した。</p> <p>6 管内治安情勢等（警察署長）</p> <p>(1) 特定抗争指定暴力団等の指定及び警戒区域について</p> <p>(2) 名張警察署の体制</p> <p>(3) 警察安全相談受理状況</p> <p>(4) 刑法犯等認知状況</p> <p>(5) 特殊詐欺等発生状況</p> <p>(6) 人身安全関連事案受理状況</p> <p>(7) 行方不明届受理状況</p> <p>(8) 交通事故発生状況</p> <p>7 協議内容</p> <p>(1) 行方不明者の発見状況について</p> <p><委員> 本年1月から5月までの間に20名が行方不明になっていると説明を受けたが、行方不明者のうち、高齢者の行方不明の状況について伺いたい。</p> <p>【署長】 行方不明者20名のうち、7名が高齢者であり、いまだ1名が発見されていない。残り6名は、警察による捜索活動、行方不明者が自ら帰宅したことで発見に至っている。</p> <p><委員> 昨年、地域の中でも行方不明となった者がいたので、地域でも取組を考えていく必要があると考えている。</p>	

- 【署長】 消防等の関係機関のほか、自治会や消防団等にも協力していただき、行方不明者の捜索に当たっている。今後も行方不明事案を認知した場合には、早期に捜索態勢を立ち上げるなど迅速に対応していく。
- (2) 刑事事件について
- ＜委員＞ 昨年、空き家を狙った犯人を2名逮捕したと説明を受けたが、名張市内に居住している者なのか。
- 【署長】 2名とも市内の居住者ではない。
今年発生した空き巣被害については、鋭意捜査中である。
- (3) 子どもを守る活動について
- ＜委員＞ 「子どもを守る家」事業が形骸化していると感じている。一昔前に比べ、住民構成も変化しているため、事業を見直す時期にあると考える。教育委員会や住民と協力し、子どもを守る活動を進めていただきたい。
- 【署長】 認定状況を再確認するなど、効果的な取組となるよう検討する。
- ＜委員＞ 市内全てのコンビニエンスストアが「子どもを守る家」に認定されているのか。
- 【生活安全課長】 全ての店舗が認定されているわけではない。
コンビニエンスストア以外の事業者にも協力を依頼している。
- ＜委員＞ 他県では、コンビニエンスストアで助けを求めることができた事例があるので、店舗の協力を得て、子供を守る活動を推進していただきたい。
- (4) 外国人への広報について
- ＜委員＞ 犯罪、防犯情報などを外国人に対して広報する機会が少ないように感じる。SNSを利用するなどすれば情報発信しやすいと思う。
- 【署長】 警察からの情報発信が外国人の方に対して、どの程度届いているのかを確認し、また、SNSを利用した情報発信についても検討する。
- (5) 特定抗争指定暴力団に係る警戒区域の指定について
- ＜委員＞ 名張市が警戒区域に指定されたが、市内に暴力団事務所はあるのか。
- 【刑事課長】 暴力団事務所は把握していないが、組員の居住は確認している。情報収集や視察等を通じて実態把握に努めるとともに、警戒を強化している。
- 【署長】 警戒区域の指定は、特定抗争指定暴力団の行動を制限して抗争を未然に防止するためのものである。不安に感じると思うが、警察として必要な対策を講じていく。
- (6) 通学路等における草木の除草・伐採について
- ＜委員＞ 通学路等に草木が生い茂り、通行に支障が生じている。学校に除草・伐採を要望したが、対応が遅い。スムーズに対応してもらえる方法を教えてほしい。
- 【交通課長】 道路上の草木の除草・伐採は道路管理者が、私有地から生えているような場合はその私有地の管理者が対応することとなる。信号機や横断歩道の障害となっている場合は、関係機関と連携して対応するため、相談していただきたい。
- (7) 特殊詐欺被害防止対策について
- ＜委員＞ 昨年度の警察署協議会で、特殊詐欺の手口について知ったおかげで被害に遭わずに済んだ。高齢者が騙されやすいと思

うため、寸劇等を利用した被害防止対策を進めていただきたい。

(8) 赤目地区の道路状況について

<委員> 赤目四十八滝の観光客が増えている。今後、更なる観光客の増加に備え、道路拡幅を検討してほしい。

【交通課長】 過去には道路拡幅が計画されていたようであるが、現在は把握していない。シャトルバス等により、交通量を抑制することも有効ではないかと考えられる。

【署長】 これから観光シーズンを迎えるため、観光客の状況を把握し、対策を講じていきたい。

(9) ボランティア活動者に対する表彰について

<委員> 名張、青山地区では、地域住民による見守り活動など、ボランティア活動が活発である。士気を高めるために表彰等を検討していただきたい。

8 速度取締り指針の説明

9 警察署長謝辞

10 公安委員会委員講評

備 考	報道機関 2 社 2 名
-----	--------------